

ユニオンファンド 月次レポート

第99号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2017年2月10日作成

MONTHLY TOPIC

トランプ政権にどう対応するか

混乱は私たちの判断にも影響しているかも

威圧的な言葉遣い、ときに事実に基づかない他国や政策への批判、米国民主義の根幹を揺るがしかねない政策の発動――。これらに好感を抱く日本人はおそらくほとんどいないと思います。就任演説は、米国民が不幸なのはすべて旧来の政治家と外国の悪い奴らのせいだと言わんばかりでした。崇高な理想とか人間性への信頼といった話はほとんどなく、史上最悪の就任演説だったと多くの米国人も評しています。

その発言は、就任後も選挙期間中と同様に感情的で、掲げる政策も合理性や整合性を欠くものが数多く含まれています。はたしてこれで世界のリーダーだったはずのアメリカはうまくいくのか、その悪影響が世界に及ぶのではないかと、といった不安を抱かせる船出と言えます。就任後たくさんの大統領令を発しましたが、なかでも移民の流入制限については、米国内はもとより国外でも反対デモが多発しました。いや、これでいいのだという賛成派も含め様々な意見がありますが、全体として新しい大統領の言動が波乱を巻き起こしているのは確かです。

しかし、こうした時こそ冷静に対応することが大切です。恐怖や怒り、不安といったネガティブな感情や、逆に成果を期待しすぎた過度の楽観論に、投資の判断と行動を左右されてはいないでしょうか。

断定と過剰反応を避けましょう

トランプ政権に限らず、投資にはこうした混乱が頻繁に付きまといまいます。やるべきことは二つでしょう。

第1に、政策が実現したときの経済や企業への影響を冷静に見極めることです。なかでも重要なのは、米国と世界の企業に与える中長期的な影響です。政策が本決まりになるか、せめて内容が明らかになるまで、断定的な判断は控えておきたいところです。

第2に、市場の過剰反応には付き合わないことです。トランプ政権からは、今後も驚くような発言や政策の発表があるかも知れません。それには市場も必ず敏感に反応しますから、株価も為替も変動が大きくなる可能性があります。しかし、下落をうまく避けようとか、逆に混乱に乗じて儲けようとか、妙な欲は出さないことです（その結果どうなるか、ホームページのコラムもご参照ください。<http://www.unionam.co.jp/column/index.html>）

株価も為替も予想で動きますが、その予想は当たったり外れたりです。今回の政権は相当異色ですから、予想的中度はさらに下がっていると思っておいた方がよさそうです。一時的な市況の振れや、当たるか外れるかわからない予想によってではなく、あくまでも企業の中長期の成長を通じた財産づくりを着実に続けていただければと思います。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2017年1月31日現在)

基準価額	
22,329 円	
純資産総額	
48 億 52 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	2.57%
6 ヶ月	12.25%
1 年	16.21%
3 年	23.01%
5 年	85.44%
設定来	123.29%

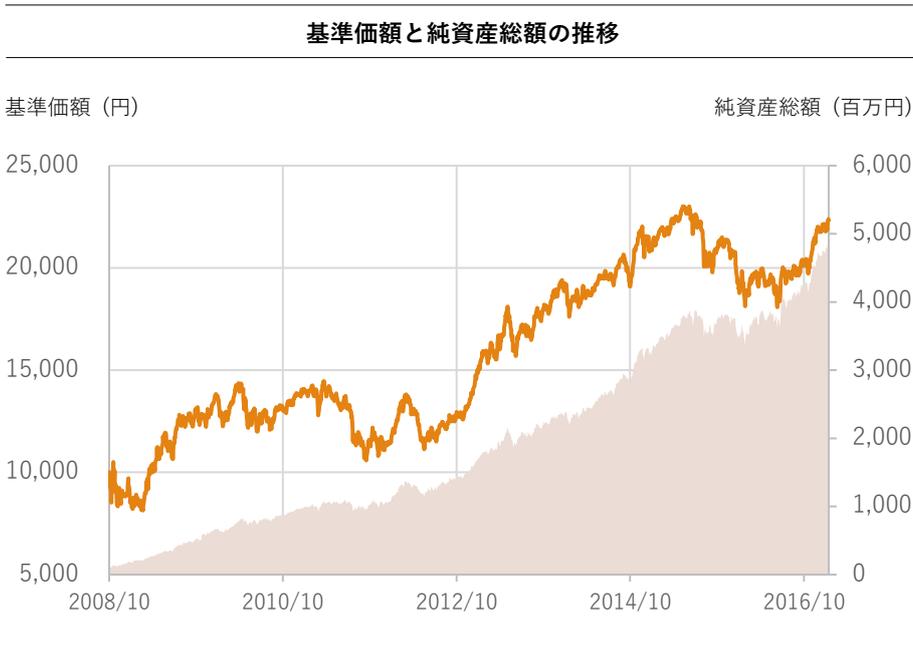
複利年率(%)	
10.18%	

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2016年12月31日現在)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみファンド	日本	7.3%	2.0%
キャピタルF	欧米	14.0%	1.7%
ハリスF	欧米	22.1%	3.3%
コムジェストF	新興国	37.5%	4.2%
現金等	-	19.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2017年1月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

世界の株価は小幅ですが値上がりしました。米国のトランプ大統領が掲げる経済政策への期待もありますが、それ以上に米国のみならず世界的に景気拡大が一層はっきりしてきたこと、そして企業業績が好調であることが、株価上昇の背景になっていると考えています。世界の株価は昨年11月から3カ月連続の上昇となりました。

もっとも、ドルの上昇に対してトランプ氏が大統領就任前後にたびたび警告を発したため、ドルの独歩高と円安の急進展はさすがに一旦収まりました。

為替市場が円高方向に転じたことから、日本株は小型株を除いて1月初めをピークにその後は伸び悩みました。一方、新興国は、ドル高を受けて資金が流出し、株価もさえない動きが続いてきましたが、ドル高の一服をきっかけに盛り返しました。市場には資金が戻りつつあり、1月の株価上昇率は先進国を大きく上回りました。

ユニオンファンドに組み入れている4本のファンドはいずれも値上がりしました（以下、いずれもユニオンファンドの基準価額に反映する日付に基づきます）。新興国の企業に投資しているコムジェストFは、他の組入ファンドに対して昨年末から出遅れてきましたが、市場の回復を受けて月間で+4.2%とやや大きく値上がりしました。欧米企業に投資しているハリスFは、組入銘柄が全体として市場を上回る好調を維持し、月間で3.3%値上がりしました。以上を受けて、ユニオンファンドの基準価額は前月末比+2.6%となりました。

運用の状況

景気の現状やトランプ政権が掲げる経済政策への期待を背景に株価の堅調は当面続くと見て、キャピタルF、ハリスF、コムジェストFの買い増しを行いました。ただ、楽観に傾いている投資家心理の揺り戻しや、円高方向へのシフトなどから、より安く買い増しできる機会が今後もあると考え、買い付けは少額にとどめました。1月末の組入比率は80.8%と、昨年12月とほぼ同じ水準を維持しています。

今後の見通しと運用方針

今後もしばらくトランプ政権の政策の行方に注目が集まるものと思われます。就任早々から矢継ぎ早に発せられた大統領令は、規制緩和など市場が期待するものがある半面、一時的に移民や難民の入国を制限する措置には反発も強まっています。最大の目玉である減税やインフラ投資に関する議論は、2月に入り議会を中心に次第に活発化すると見られます。しかしその行方はなかなか見通しにくい状況です。

トランプ氏の当選以来、市場には株価上昇への強い期待と楽観ムードが広がっています。特に米国株は株価収益率（PER）が歴史的に高めであることなどから、もたつき気味の相場展開を予想しています。為替についても、一段の円高には注意が必要と思われます。とはいえ、世界経済の拡大基調と上向いている企業業績とが、今後も株価を押し上げていくと見ています。このため、市況悪化局面で積極的に買い増しを行う方針を維持していく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



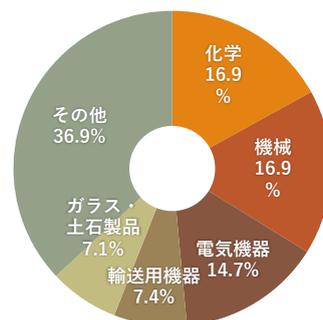
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 プリチソン	4.2%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2 日本電産	3.7%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3 ダイキン工業	3.4%	日本	機械	エアコン世界首位
4 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
5 花王	3.0%	日本	化学	トイレットペーパー首位
6 信越化学工業	2.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンウエー世界大手
7 国際石油開発帝石	2.8%	日本	鉱業	石油メジャー
8 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 浜松ホトニクス	2.5%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
10 三菱重工業	2.1%	日本	機械	世界的総合重機メーカー
上位 10 銘柄	30.3%		現金等	12.1%

業種別構成比



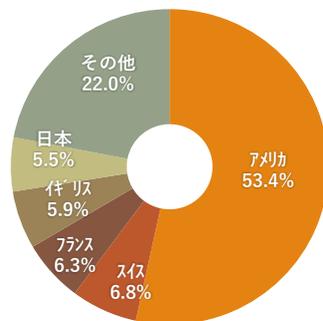
※ 業種：東証 33 業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 1 月末現在>

キャピタル F (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラス Z)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



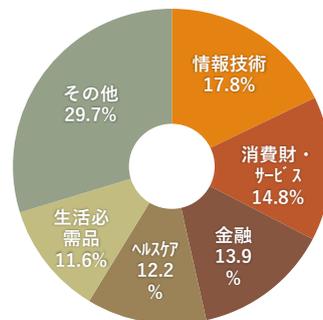
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Microsoft	2.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
2 Alphabet	2.2%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
3 Incyte	2.1%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
4 TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 ASML	2.0%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6 Visa	2.0%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7 AIA	2.0%	香港	金融	生保・金融サービス
8 CME	1.8%	アメリカ	金融	先物等の国際的取引所
9 Schlumberger	1.8%	アメリカ	エネルギー	石油掘削大手
10 LafargeHolcim	1.6%	スイス	素材	セメント世界一
上位 10 銘柄	20.2%		現金等	4.1%

業種別構成比



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2016 年 12 月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ハリス F (ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007)

基準価額(分配金込み)の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>

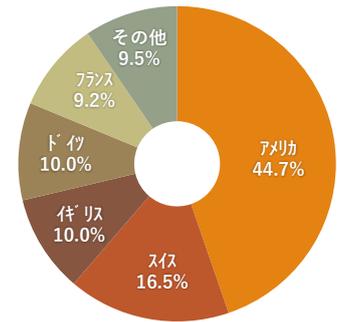


組入銘柄トップ 10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CNH INDUSTRIAL	5.1%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
2 GLENCORE	4.9%	オーストラリア	素材	鉱山開発・商品取引
3 DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
4 BNP PARIBAS	4.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 ALLIANZ	4.6%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 CREDIT SUISSE	4.3%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
7 GENERAL MOTORS	3.9%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ 3 の一角
8 JULIUS BAER	3.6%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 WELLS FARGO	3.3%	アメリカ	銀行	金融大手
10 JPMORGAN CHASE	3.1%	アメリカ	銀行	世界的大手銀行
上位 10 銘柄	42.3%		現金等	6.1%

※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率

国別構成比 (マザーファンド)



業種別構成比 (マザーファンド)



<2016 年 12 月末現在>

コムジェスト F (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



組入銘柄トップ 10 (マザーファンド)

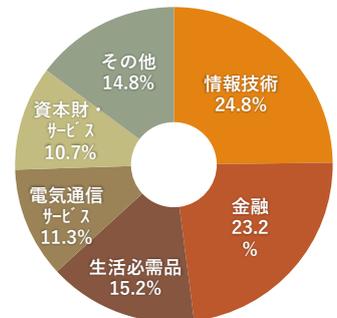
組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	5.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 NETEASE ADR	5.0%	中国	情報技術	オンラインゲーム
3 CHINA LIFE	4.9%	中国	金融	生保
4 POWER GRID OF INDIA	4.6%	インド	公益事業	電力関連 (送電網)
5 MTN	3.3%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
6 INFOSYS ADR	3.3%	インド	情報技術	IT ソフト総合サービス
7 BB SEGURIDADE	3.2%	ブラジル	金融	保険大手
8 CHINA MOBILE	3.0%	中国	電気通信サービス	携帯電話
9 SAMSUNG LIFE	3.0%	韓国	金融	生保
10 INNER MONGOLIA YILI	3.0%	中国	生活必需品	中国乳製品大手
上位 10 銘柄	39.1%		現金等	2.0%

※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 1 月末現在>

国別構成比 (マザーファンド)



業種別構成比 (マザーファンド)



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご住所の変更をされるお客様へ

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更届をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話または弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」 > 「登録情報変更用紙請求」フォームで届出用紙をご請求ください。

お届けにあたっては、**新住所が証明できるご本人確認書類をあわせてご提出ください。**

※ ご住所変更の際、個人番号（マイナンバー）もご提示いただきます。

【ご注意ください】

- ・ 新住所をお届けいただくまでの間、各種報告書等は旧住所への送付となります。
- ・ 法令の定めにより、新住所のお届け出がない場合、原則として、ファンドの解約代金等をお支払いすることができません。
- ・ 海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なります。**必ず出国される前に弊社までお電話ください。**（出国後ではお手続きいただけないものもあります。）

スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。

購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。

販売手数料はかかりません。

<当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限りです。>

スポット購入は、**当日15時までに弊社でご入金の確認ができたものが当日受付分となります。**

15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。

※ お振込みの際は、**「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前**でお願いいたします。

※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。

（お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 金 信託財産留保金はありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。
目安であり、組入状況により変動します。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。